

ねじ・工具商社大手のサンコーインダストリー（本社大阪府西區、奥山淑英社長）は、厚生労働大臣から「子育てサポート企業」（くるみんマーク取得企業）に認定された。ねじ業界で認定事業主となるのは珍しい。

子育てサポート企業は、雇用環境の整備について適切な一般事業主計画の策定と計画の実施、達成、公表、従業員への周知などを行っているほか、男性・女性従業員の育児休業などの取得といった一定の要件を満たした企業に対し、申請に基づき認定されるもの。認定企業は商品や広告などへの「くるみんマーク」表

子育てサポート企業に認定

示が可能となる。

同社が行っている子育て支援の取り組みとして、社内特別育児休業の周知や育児休業取得者へのヒアリング、計画期間

中の女性労働者の育児休業取得率が70%以上、同じく男性労働者のうち1人以上育児休業等を取

示が可能な。従業員は男性2に対して女性1だが、本社は内勤中心に女性の比率が高いという。

計画実施の最初には、奥山社長自ら社内サイトを通過して子育て支援を宣言し、周知を図った。ワークライフバランスへの

サンコーインダストリー

得したことなどが、審査・評価され、本年1月23日付で認定を受けた。

積極的な取り組みや、採用時の育児休業からの復職者について説明すること

同社では「社員が仕事と子育てを両立することができ、すべての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため」の行動計画、具体的な目標と対策を作成し、推進し

とで、企業イメージアップや人材確保など効果が上がっている。今後も従業員が制度を利用しやすい職場環境づくり、子育て支援に積極的に取り組む方針だ。